

グリーフラ便り

グリーンインフラ
官民連携プラットフォーム



国土交通省より

■ 第6回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定しました！

グリーンインフラ官民連携プラットフォームでは、第6回グリーンインフラ大賞について、全国から応募のあった多数の取組事例の中から「国土交通大臣賞」2件、「GREEN×EXPO賞」1件、「特別優秀賞」3件、「優秀賞」5件を決定しました。

第6回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」

◆ 調の森SHI-RA-BEにおけるグリーンインフラの長期実証

【受賞者】株式会社 竹中工務店 【所在地】千葉県印西市

【概要】ステークホルダー連携による緑地活用、「人と自然をつなぐ」活動

調査未利用空間を多様な生き物の生息空間（特に草地景観、水域）に整備。生物多様性保全及びグリーンインフラの研究・実証フィールドとして活用するとともに、実装した技術やフィールドでの取組効果についてモニタリングを継続し、生物多様性やウェルビーイングの向上効果を確認。従業員や周辺企業、市民への普及啓発を実施し、地域スケールでの自然共生実現に貢献している。



ポイント

研究者や地域のステークホルダーが連携しやすいよう、都市農業や養蜂、水生植物の生息域外保全などの活動を先導して実施。地域の生態系に配慮した樹林地の形成により、年間約8.7tのCO₂固定。内水氾濫対策としてのレインズケープ等により、下水道への流入水量を90%以上削減。実装した技術や取組による効果把握が継続されている。

◆ 大手町タワー（大手町の森） 「都市における自然環境の再生」を目指し続けた12年の歩みと今後の展望

【受賞者】東京建物株式会社 【所在地】東京都千代田区

【概要】都心で緑に親しむ機会を創出 「人に心地よく、生き物が棲みやすい、自然・郷土の森」

大手町タワーの敷地面積の約3分の1に相当する約3,600m²の都市緑地「大手町の森」を整備。竣工から10年以上が経過し、「都市の森」として成熟期を迎える中、都心にありながらも自然を感じられる森では、心地よさを活かしたイベントを毎月開催しているほか、森に近接する通路は常時開放されており、周辺オフィスワーカー、来訪者に緑に親しむ機会を創出している。



ポイント

「競争しながら共存」することを自然本来の姿と位置付け、植物の種数の変遷をモニタリング調査で確認。『疎密』（様々な密度で樹木を配置）、『異齢』（異なる年齢の樹木が混在）、『混交』（常緑樹・落葉樹・地被類が混在）の観点を計画的に取り入れ、美しい自然景観が形成されており、空間を活用したイベントが多数開催されている。

第6回グリーンインフラ大賞「GREEN×EXPO賞」

新設

◆ 流域の治水・生物多様性に貢献する「鶴見川源流保水の森」

【受賞者】特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク、町田市経済観光部 農業振興課
特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーキング

【所在地】東京都町田市

第6回グリーンインフラ大賞「特別優秀賞」

- ◆ 下町×雨・みどりプロジェクト
【受賞者】NPO法人 雨水市民の会、東京都墨田区 【所在地】東京都墨田区
- ◆ 「ECO35の森」～都会の工場跡地を活用した自然共生モデルの構築～
【受賞者】株式会社 三五 【所在地】愛知県名古屋市
- ◆ 子どもたちと創る、水といのちの循環する庭～都市でもできる自然再生のお庭づくり～
【受賞者】お庭屋さんほうき、オルタナティブスクール アイム 【所在地】兵庫県明石市

第6回グリーンインフラ大賞「優秀賞」

- ◆ 横浜上郷 トコミドリの里山～楽しみながら進める地域との連携～
【受賞者】東急建設株式会社 【所在地】神奈川県横浜市
- ◆ 大雨と猛暑の被害を軽減する舗装「ハイドロペイプ®」
【受賞者】株式会社大林組、兵庫県神戸市、大林道路株式会社 【所在地】兵庫県神戸市
- ◆ 茨木市文化・子育て複合施設 おにくる周辺エリア
【受賞者】大阪府茨木市、株式会社竹中工務店、株式会社伊東豊雄建築設計事務所、株式会社地域計画建築研究所、studio-L、住友林業緑化株式会社、株式会社ヘッズ、一般社団法人日本建築協会
【所在地】大阪府茨木市
- ◆ 樹木林業でよみがえる里山と暮らし—地域循環型グリーンインフラの実装を目指して
【受賞者】株式会社四国の右下木の会社 【所在地】徳島県海部郡美波町
- ◆ 「BIO NET INITIATIVE（ビオ ネット イニシアチブ）」～マンション緑地を活用した生物多様性保全の取り組み～
【受賞者】三菱地所レジデンス株式会社
【所在地】以下の都府県の都市部
(宮城県、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、岐阜県、大阪府、兵庫県、京都府、石川県、広島県、福岡県)

表彰式

国土交通大臣賞、GREEN×EXPO賞、特別優秀賞の受賞事例に対する表彰式は、グリーンインフラ産業展2026で実施予定です。

【日時】令和8年1月28日(水)午前

【場所】東京ビッグサイト 東7ホール内 メインステージ

グリーンインフラ産業展2026の詳細については、下記サイトをご確認ください。

【グリーンインフラ産業展2026 特設サイト】<https://biz.nikkan.co.jp/eve/green-infra/>

詳細はこちらから ▶▶▶ 「第6回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」が決定しました！」
(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000365.html)

会員情報 2150人・団体 (2025年10月20日時点)

● 新たな三号会員 (民間企業、学術団体等)

- ・株式会社IMAGICA EEX
- ・東京海上日動火災保険株式会社
- ・株式会社奥村組
- ・河口建設株式会社
- ・SOMPOインスティチュート・プラス
- ・全国トース技術研究組合
- ・株式会社ランドスケープデザイン
- ・恵庭建設株式会社
- ・株式会社博多大丸
- ・天籟株式会社
- ・株式会社アルコム
- ・株式会社四国の右下木の会社
- ・ルミライトソリューションズ株式会社
- ・三菱地所レジデンス株式会社
- ・株式会社 復建エンジニアリング
- ・小柳建設株式会社

● 新たな一号会員 (都道府県及び市区町村)

- ・所沢市
- ・秩父市
- ・武蔵野市役所
- ・茨木市

● 新たな二号会員 (関係府省庁)

- ・九州地方整備局熊本河川国道事務所

- ・株式会社OSOTO
- ・NPO法人poco a bocco
- ・特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワーキング
- ・一般社団法人日本建築協会
- ・特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所
- ・株式会社地域計画建築研究所
- ・株式会社ヘッズ大阪本社
- ・公益財団法人九電みらい財団
- ・株式会社Pro drone
- ・公益財団法人地方経済総合研究所
- ・ナンバーグループ株式会社
- ・公益財団法人しまね産業振興財団
- ・サッポロ不動産開発株式会社
- ・青葉組株式会社
- ・YKK AP LANDSCAPE 株式会社
- ・株式会社ラテラ



TOPICS

グリーンインフラに係る資金調達や実装プロセスの標準手法化等について検討を実施しています！

○グリーンインフラにおける導入・実装プロセスの標準手法化及び地域産業の活性化に資する事業モデル化に係る検討を行う「グリーンインフラの導入に係る標準手法・事業モデル化に関する運営委員会」および、資金調達を円滑化する環境整備を推進する観点から、グリーンインフラ事業を実施したい事業者・自治体・支援機関等が参照できるガイドラインの検討を行うため、「グリーンインフラの資金調達に係るガイドライン検討会」を設置し、検討を行っています。

○議事概要、当日資料については、国土交通省HPの「グリーンインフラポータルサイト」ページ内に掲載しております。

詳細はこちら ▶▶▶ 「国土交通省HP グリーンインフラポータルサイト」
(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000015.html)